

若宮地区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和7年7月24日（木）19時00分～20時29分
場所 若宮公民館
司会・進行 若宮地区連合自治会長
参加者数 男20人 女9人 合計29人



1. 市の重点事業に関する質問

校区課題についての質問だったため、校区課題と合わせて回答

2. 校区課題

地区防災整備事業（防災備蓄拠点施設）について

（課題説明者）

若宮地区の避難所はワクリエ新居浜と若宮公民館だが、防災用品を保管する安全かつ十分な広さの防災倉庫がない。現在市内の小学校では旧給食室を防災倉庫として利用するべく事業が計画・実施されていると聞いているが、ワクリエ新居浜には旧給食室がない。ワクリエ新居浜建設前の住民説明会では、行政側から防災対策について他地域と同等にする旨を

約束された経緯もあるため、校区単位の安全、公平性を考慮したワクリエ新居浜への防災倉庫の早期着手をお願いしたい。

(危機管理監)

今年度より、平成 25 年 12 月に公表された愛媛県地震被害想定調査に基づき、住まいが全壊することが想定される避難者 14,680 人に対し、2 食分の 29,360 食を 5 年間で計画的に整備する予定。若宮地区の場合、ワクリエ新居浜の既存の備蓄倉庫では、空きスペースの減少が見込まれていることから、今年度より若宮地区と備蓄物資の収納スペース確保に向けた協議を進めていく。

(質問者)

防災倉庫がどういう計画で進められているのか、地元（話が）おりてきてない。

(危機管理監)

各小学校の備蓄倉庫については、食料も含めた市の備蓄物資の置き場として整備を進めており、自治会の物品等については一緒に入れられない。現在ワクリエ新居浜では南棟の 3 階の倉庫に食料と飲料水、南棟東側のプレハブに発電機を置いているが、分散している状態。新たな倉庫を建設することは約束できないが、備蓄スペースを確保できるよう整備を進めたいと考えている。

(質問総括)

- ・ここは海が近いので 1 階だと水浸しになる。そうすると 3 階がいいのか。
- ・他の校区の旧給食室は動線がいいところにある。
- ・南棟東側のプレハブの広さはどれくらいか。他の校区の給食室より小さいのでは。

(危機管理監)

プレハブの大きさは 3×4m より小さいと記憶している。現状ではスペースが狭いため、担当者レベルでの案ではあるが、体育館の卓球台のある中 2 階に倉庫スペースを確保して、現状分散しているプレハブの中の物やワクリエ 3 階の食料品等を一緒に保管してはどうかと考えている。

(質問者)

我々が備蓄として考えなければならないのは防災資材、それを緊急時に引っ張り出して使える倉庫が必要。例えばワクリエの 3 階に発電機を置いて、そこから引っ張り出して利用するとなるとかなり重量もあって運搬が大変。また、他の資材もありスペース的には広くない。今はワクリエの体育館の倉庫と若宮公民館のプレハブに保管しているが、何がどこにあるか整理するのも難しい状況にある。

市が防災倉庫として旧給食室を改築して利用できるように進めている他の校区においては、食料の備蓄を大前提として進めているのか。

(危機管理監)

現状、ワクリエの 3 階には食料・飲料水・衛生用品のみで、重量物については外のプレハブに入っているためすぐに取り出せるはず。担当者レベルでの案ではあるが、体育館の中 2 階を防災倉庫とするなら 3 階よりも取り出しやすいのではと考えている。他の校区においても、防災倉庫には市の備蓄物資、食料・飲料水・資機材をまとめて収納し

ている。自治会の備蓄物資も入れさせてほしいという要望もあるが、管理上の問題もあるので、市の備蓄物資のみの収納とさせていただいている。

(質問総括)

- ・(中2階は)卓球や子供の活動で利用するため、支障がないようにしてもらいたい。
- ・空いたスペースに詰め込むみたいに聞こえる。他の校区と同じように給食室に近いようなものを設置して収納できるようにしてもらわないと不平等ではないか。
- ・計画にあがっていても今こういう状態で(防災倉庫の)整備が進んでいない。早期に話し合いを進めてもらいたい。
- ・自治会の防災備品を入れると混在して保管の問題が出てくるため、防災倉庫に保管するのは市の物だけという考えなのか。
- ・愛媛県の中で新居浜市は備蓄率が一番悪いと聞いた。もう少し上げてほしい。きちっとした食料の管理をしてもらいたい。

(危機管理監)

体育館の中2階の案は、まだ決まったわけではない。遅くなったことは申し訳ないが、早急に自治会ともお話をさせていただきたい。現状では市の備蓄物資とワクリエ新居浜の指定管理者の物品が混在しているので、市の備蓄倉庫としてスペースをしっかりと確保して収納することを考えている。

各小学校において備蓄倉庫の大きさは異なる。また、国の方からも将来的には備蓄物資の増加を指示される可能性もあるため、そういったことも考慮し、市の物だけを保管する方針としている。

食料品の備蓄量については、今後5年間かけて約3万食まで増やす計画としている。

地区防災整備事業(マンホールトイレ)について

(課題説明者)

避難所として指定されている市内の小中学校には避難所運営のためにマンホールトイレが順次設置されており、小学校は今年、若宮以外の残り2校で整備予定と聞いている。ワクリエ新居浜も早期からマンホールトイレの設置要望を提出しているが、市においてワクリエ新居浜のマンホールトイレの事業計画はどのようになっているのか。避難所におけるトイレ対策は喫緊の課題、地域における南海トラフ防災活動推進の点からも早期設置をお願いしたい。

(上下水道局長)

若宮地区は、令和8年度に実施設計、令和9年度の工事という予定で進めている。せっかくの機会なので整備状況等について説明する。これまで市内11箇所では整備が完了し、今年度も2校区での整備を予定している。

地震発災直後は公共下水道管が破損して使用できなくなる可能性があるため、下流側に仕切弁を設けて、排泄物を一定期間溜めておくことができる防災貯留型トイレとなっている。公共下水道の仮復旧まではバキュームカーで汲み取る仕組みだが、中には水を張っている

ので臭いも少なく、トイレのうち1つは大きめのバリアフリー型を採用している。

発災直後は公助にも限界があるため、市民・地域の皆さんも共助・自助で頑張っていたきたい。他の校区でもトイレの組み立て方法等を説明させていただいているが、QRコードを読み込めば動画で説明を見ることもできる。発災時には地元を中心にトイレの世話をしてくれる人など役割分担を決めて運営していただく体制をお願いしたい。

令和8年度の測量設計の際には、トイレの場所も含めて相談させていただきたい。

(質問者)

令和2年度から整備されているのに若宮地区はまだ整備されていない。若宮小学校が廃校になる時に、マンホールトイレの設置要望をしていたのに後回しになっている。

(上下水道局長)

廃校になるから優先順位を下げたわけではなく、避難者数等も考慮しての判断である。

(質問者)

国に申請して予算がつかなければどうなるのか。

(上下水道局長)

要望している予算の中には他にも下水道関係の耐震工事等が含まれるため、どう配分されるかはわからないが、(若宮のマンホールトイレが設置できるよう) 要望し続けていく。

(質問者)

他の小学校ではプールの水を使用すると思うが、ワクリエのプールは養殖で使われている。水の確保はどうなるのか。

(上下水道局長)

他の小学校でもプールの近くにマンホールトイレがない所もある。建設業者とも事前相談が必要だが、極端な話にはなるが若宮の場合、近くに王子川があるので水中ポンプで取水する等、そういったことも設計段階で相談させていただく。

(質問総括)

- ・マンホールトイレは衛生的にも良いので、是非設置をお願いしたい。
- ・障害者にとってもトイレの整備は重要。
- ・夜の使用時は電源も必要では。

(上下水道局長)

トイレは場所の選定が一番重要。夜に使用する時のことも考えて、令和8年度、地元のお話を聞きながら設計していきたい。トイレには1つずつLEDライトを置いているが、他の事例でも、事前に配線して電気を通すことまではしていない。熊本地震の際も、ランタンを持ち寄って使っている事例もあるので、皆で工夫しながら使ってもらいたい。

(質問者)

- ・若宮はワクリエ新居浜との関係もあるので、必ず地域を巻き込んだの話し合いをお願いしたい。
- ・マンホールトイレのマンホールの大きさはどれくらいか。
- ・地震で下水道管が壊れたら使えないのでは。

(上下水道局長)

地域の協力なく設置はできないので、地域を巻き込んでさせていただきたい。

普通のマンホールの大きさよりかなり小さい。トイレ付属のガイドをマンホールに差し込んで使ってもら。トイレは貯留型のためバキュームカーで汲み取ることができる。また、し尿処理場の耐震工事も完了しているので地震が起きても問題ない。

3. その他

(質問者)

文化センターがなくなると、少年少女合唱団など文化団体の活動場所がなくなる。アリーナになると聞いたが、今後の方向性を聞かせていただきたい。

(市長)

文化センターの耐用年数が迫っているが、人口減少の時代に今までと同じ規模のものを建てることはできない。「賢く縮む」という考え方のもと、なるべく大きな施設を持たず、その代わりに皆で使える施設としてアリーナを打ち出したが、文化団体の方々も使えるイメージで検討したい。ただ、建て替えている間は使えないが。

例えば文化センターと同じようなものを建てると、椅子が固定されており避難所としては使えない。可動式の椅子になるとか音響が悪くなるとか（多目的アリーナの性質上）今まで通りとはいかない部分も出てくる。（市民や利用団体が）それぞれ少しずつ我慢してもらわなければならない。

(質問者)

アリーナとホールは違うので、音響は少しの我慢では済まない。文化センターの代わりにアリーナというのは音楽をしている人達は理解するのが難しい。アリーナのように何万人も入るところを数十人の演奏で使うのは考えづらい。

(市長)

高松でも最大1万人なので、新居浜で何万人も入るアリーナというのは難しい。また、多目的に使う施設では何かに特化することはできない。個別の物を全部追い求めるとなるといくらでも造らなければならない。松山市の規模であれば文化会館もアリーナも体育館も武道館も造れるかもしれないが、10年後には10万人を下回る街では現実的ではない。これからは新居浜市、四国中央市、西条市くらいの範囲で見て施設を使っていかなければならないと思っている。子供が2千人産まれていた時代と700人を割り込んだ時代で、同じように各小学校の建て替えはできないから我慢してもらって学校も少しずつ統廃合していく計画でそれぞれの分野の人が少しずつ我慢しないと成り立たない社会になっている。それぞれが活動・発表する場所を奪うと言っているわけではないので、少し音響が悪くなるとか少し不便になるというのは我慢して皆で使っていただきたい。

(質問者)

音楽のような文化的なことは我慢するようなものではないと思うが。

(市長)

例えば、そのしわ寄せで防災備蓄に支出できなくなっていいのかとか、あれもこれもの時代ではなく、あれかこれかの時代になってきている。200億円の施設を作ってランニングコ

ストが年間数億円かかり、同じように他の施設も壊れたら造り直すことをしていたら成り立たない。もちろん、新居浜で頑張ってくれている人がこれからも頑張ってもらえる環境を残したいという思いはあるので、なるべく皆で使えるものを考えているところ。

4. 市長まとめ

防災備蓄については、地域の皆様方と協議して進めていきたい。また、ご理解いただきたいのが備蓄食料、これは市内で3万食を目標に準備しているものの、災害時に本当に困っている人のために使いたいので、発災後の3日間、これは皆さんの（家庭での）蓄えで頑張っていたいただきたいと思っている。ある街の避難所では、避難所で出されたものが美味しくないと言ってボランティアの方々を困らせたという事例も聞いている。備蓄食料というのはそんなに美味しいものではないと思うので、まずは自分達である程度は蓄えておいて欲しい、このことをお願いしたい。

マンホールトイレの整備は遅くなったこと申し訳ない。今後はスケジュール通り進められるよう最善を尽くしていきたいので、場所等についても相談させていただきながら最適な場所に設置していきたいと考えている。